

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 10
ID 100604

【施設状況】

グループ名称	中条社会就労センター、地域活動支援センターけやき										
指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう							法人番号	1100005007764		
所管課	主	100600	福祉政策課		副	102000	障害福祉課				
構成施設	5108	中条社会就労センター									
	1419	地域活動支援センターけやき									
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【施設】鉄骨造2階建 延床面積 394.75㎡(地活センター) 283.50㎡(就労センター) 社会事業授産施設 :2階部分 作業室、休憩室、事務室 地域活動支援センター:1階部分 作業室3、事務室、休憩室										
施設設置目的	【就労センター】身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。 【地活センター】障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生活活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。										
基本方針等	・身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流のできる地域に根ざした施設となることを目指す。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。										
主な実施事業	【就労センター】民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。 【地活センター】地域活動支援センター事業(作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談)										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう				当該指定管理者の 指定回数	1 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価	
	授産施設(利用者月平均)		22	22	21	18	86%		
	地域活動支援センター(利用者月平均)		5	5	5	6	120%		
(特記事項) 【就労センター】生活保護法の規定による要保護者、障害者の技能修得・就労の機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れることができる。定員30人 【地活センター】障害のある人が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会提供や社会との交流の促進を図る。定員14人									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				4
	市指定事業	・授産施設の事業実施に関する業務 ・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務 ・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・授産施設の利用料金の収受、割引等に関する業務 ・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務			特になし				
	自主事業	・地域支援事業(空き家・空き地管理、草刈、農作業支援等) ・農産物加工・販売(切干大根、野菜販売等) ・利用者の生活支援(生活相談への対応、障害福祉サービス・介護保険サービスの支援会議参加、買物対応)			特になし				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・地域に根差した自主事業を展開した。 ・利用者の特性に配慮したり、その日の体調にあわせて、作業を選択できるようにした。 ・高齢の利用者には、自宅での内職作業を可とした。(ただし月1回は出勤)							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
		(2) 調査、会議等の内容 要望・苦情は随時受付ており、夕礼時職員会議の時に協議を行っている。		
		(3) 調査、会議等の結果 職員間で情報共有がはかられている。		
	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 利用者の大半が高齢者と独居のため、交流の場として施設が求められている。 別世帯の家族からも安否確認に役立っている等信頼と安心の声がある。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 特になし		
《対応措置》 特になし				

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	70,000	利用料金	67,975	歳入	使用料			使用料	
指定管理料		28,067,000	指定管理料	28,067,000	雑(納付金)			雑(納付金)			
委託料		0	委託料		行政財産目的外使用料			行政財産目的外使用料			
販売収入等		0	販売収入等		貸付料			貸付料			
その他収入		838,000	その他収入	1,050,479	その他			その他			
作業収入		3,950,000	作業収入	3,845,430	利益配分			利益配分			
奨励金		250,000	奨励金	205,420	保護施設事務費負担金		18,629,412	保護施設事務費負担金	20,721,090		
収入計		33,175,000	収入計	33,236,304	計	18,629,412	計	20,721,090			
人件費		24,765,000	人件費	24,295,402	歳出	指定管理料	28,067,000	指定管理料	28,067,000		
設備管理費		62,000	設備管理費	60,731		委託料		委託料			
備品購入費		80,000	備品購入費	80,000		需用費		需用費			
修繕費		520,000	修繕費	386,408		役務費	23,128	役務費	22,811		
光熱水費		870,000	光熱水費	854,706		使用料・賃借料	340,560	使用料・賃借料	340,560		
事業費		2,586,000	事業費	2,733,435		修繕費		修繕費			
事務経費		10,000	事務経費	636,205		工事請負費		工事請負費			
本社経費		0	本社経費	0		備品購入費		備品購入費			
その他		4,201,000	その他	4,050,850		その他		その他			
利益配分			利益配分			計	28,430,688	計	28,430,371		
支出計		33,094,000	支出計	33,097,737							
指定事業損益		81,000	指定事業損益	138,567							
利益配分を除く 指定事業損益	81,000	利益配分を除く 指定事業損益	138,567								
収入	3,030,000	収入	2,843,246								
自主事業	支出	3,030,000	支出	2,916,223							
	自主事業損益	0	自主事業損益	-72,977							
損益	81,000		65,590		差引	-9,801,276		-7,709,281			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									73.4%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容	チェック欄	評価	
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			・常勤6人(6人)、非常勤1人(1人) 【内訳】2施設責任者各1人、常勤指導員2人、非常勤指導員1人、常勤支援員2人
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒		
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

6 危機管理体制

※ すべて [] で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

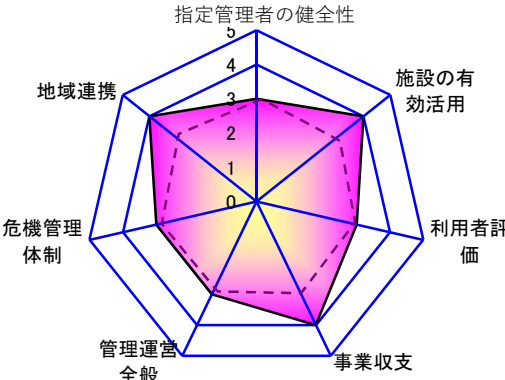
No. 10

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
		特になし	

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	4	8		
	利用者評価	3	12	66	
	事業収支	4	8		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	4	8		

評価理由

【就労センター】

高齢化、過疎化が進む中条地区のニーズをキャッチし、施設内で作業するという従来の発想を転換し屋外での作業（公園管理や空き地・空き家等の除草作業、農作業支援等）を取り入れた。利用者に適した作業が可能になり、収益も上げている。同時に、地域への貢献度も高いことから、「施設の有効活用」及び「地域連携」について、評価を「4」とした。

【地活センター】

就労センターと同様に、高齢化や過疎化が進む中条地区において、地域住民の居場所としての役割を十分に果たしている。また、保健師や民生児童委員との連携を通じて地活センターの利用相談が寄せられ、新規利用者の獲得につながっている。引き続き、関係機関と連携しながら利用者の増加に向けた取組を進めていることが確認できた。さらに、地域住民に作業室を開放し、さをり織りの製作活動を行っており、施設の有効活用が図られている点も評価できることから、「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	施設建設から40年近くが経過し、適切な維持管理を行っていく必要がある。	劣化状況の早期把握に努めた。	施設の老朽化が進んでおり、利用に支障が出ないよう、修繕を行っていく。
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・施設の老朽化が進んでいることから、日々の点検等を通じ、不具合箇所の早期発見に努め、基本協定に定める責任分担に基づき、計画的に修繕等を行う。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・2施設一体管理を意識し、職員への業務内容の周知を図り、運営を行った。
- ・施設内での軽作業のほか、屋外での作業も取り入れ、利用者が自分にあった作業を選択できるようにした。
- ・利用者のその日の体調や様子を見ながら、作業に取り組んでいただいた。
- ・利用者の特性の把握に努めた

② 業務の効率化に対する取組み

- ・各施設は、異なる業務内容であるものの、一体管理を意識し、職員同士の情報交換・協力体制の強化に努めることで、柔軟に業務に取り組んだ。

③ その他

- ・地域貢献に主眼を置いた運営に努めた結果、地域からの信頼を得るとともに、徐々に認知度も高まっている。また、地域から必要とされる施設になったと感じている。
- ・介護保険対象者(要支援1～2、要介護1～2、※障害者手帳未所持)の地域活動支援センターの利用に関する相談が複数あることから、本利用に向けた検討・調整を行い、利用者数増に繋げていく。
- ・地域活動支援センターの作業室のうち1室を地区の住民に(週1日)無料で開放している。開放時は作業室の備品を使って、「さをり織り」を製作しており、地域活動支援センターの女性利用者も一緒に参加している。製品の評判は上々でしたが、地区内での販売機会が少なく売上の見込みが立たないため、作業室の貸し出し料金の徴収には至りませんでした。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・2施設一体管理に安定は見てきたものの、中条地区での利用者減少が進んでいる。各施設の設置目的に基づく業務のほか、施設利用のきっかけづくりとして、地域住民が集える場所としての運営にも取り組みたいと考えている。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・2施設一体管理としての落ち着きが見え、地域貢献に主眼を置いた発展性のある事業を展開することができた。

② 次年度以降の取組み

- ・利用者の増加につなげるため、魅力ある事業運営に取り組むとともに、引き続き、施設の認知度向上を図っていきたい。